

宇治市環境保全審議会専門部会議事要旨

会議名	令和5年度第3回宇治市環境保全審議会専門部会
日時	令和5年11月15日(水) 13時～14時20分
場所	うじ安心館3F第会議室
出席者	<p>委員 松原部会長、松良委員、太田委員、木原専門委員</p> <p>事務局 前田人権環境部副部長 吉田環境企画課長 井上副課長 齋藤地球温暖化対策係長、中尾主任、安田主任</p> <p>コンサル エヌエス環境(株)</p> <p>傍聴者 記者1人</p>
<p>1 審議事項</p> <p>(仮称)宇治市第3次環境保全計画(宇治市地球温暖化対策地域推進計画含む)の素案について</p> <p>事務局から、前回の専門部会(10/13)からの主な変更点等について説明した後、素案について審議が行われた。</p> <p><b>【主な意見・質疑応答】</b></p> <p>(委員)</p> <p>目次の第4章、基本目標1の施策の方針1は「脱炭素なまちをつくる」とあり、P38は「脱炭素のまちをつくる」とあるので、どちらかに合わせる必要がある。また、目次に「資料編」が2か所あるが1か所で良い。</p> <p>P3の図 1-2 は計画期間が矢印で書いてあるが、本計画の下半分に地球温暖化対策の矢印を入れてはどうか。</p> <p>P38市の取組に木材利用の促進について書かれているが、市民や事業者の取組の中にも「木材利用に努めます。」など、市の普及促進を受けた取組があっても良い。</p> <p>P48市民の取組に「省エネルギー行動に努めます。」など省エネルギー行動について書かれているので、市の取組としても取り上げた方が良い。</p> <p>P49のデコ活の囲みはコラムであると明確に表示した方が良い。</p> <p>P59市の取組に「災害発生時の廃棄物についてルールを定め」とあるが、今はルールが存在しないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>現在、計画策定中であり、今年度中にはできる。</p> <p>(委員)</p> <p>同じく、市の取組に「クールスポットを設置します。」とあるので、市民の取組に「クールスポットを活用します。」があっても良い。</p> <p>P60事業者の取組に、災害時の廃棄物処理特例について書かれているが、これは限定さ</p>	

れた事業者に対する特例である。むしろ市の取組に「災害時の廃棄物処理特例の対象となる事業者について平時から連携するよう努めます。」とあると馴染む。

P65市民の取組に「廃棄物に関連する講座や学習活動への参加に努めます。」とあるので、市の取組に「廃棄物に関する講座や学習活動を行います。」があつて然るべきである。

P73事業者の取組に「所有地を適正に管理し、不法投棄の未然防止に努めます。」とあるが、むしろ市民の私有地に不法投棄されるケースが多いので、市民の取組に「所有地を適切に管理し、不法投棄の未然防止に努めます。」とあると良い。

P74に環境美化活動の写真には、いつ、誰が、ごみの回収量などの情報があるとイメージが膨らむ。

P76市民の取組に「身近な動植物に関心を持ち、体験学習などを通じ」とあるが、体験学習の機会がどれくらいあるのか疑問である。市の取組に「体験学習の機会を提供する。」とあると理解しやすい。

P77市民に「まちづくりの参画に努めます。」とあるが、どんな機会があるのか。市の取組に「市はまちづくりに参画する機会の提供に努めます。」とあると分かりやすい。

(事務局)

ご意見を踏まえ、説明文を追加するなど修正する。P77まちづくりへの参画は、地域で行われているワークショップ等をイメージしていたが、市の取組を含めて整理する。

(委員)

コラムや国の取組などの資料は、本来の計画と別であると一目瞭然で分かる表現が良い。

(委員)

市民や事業者の取組が「～します」となっているのは、上から勝手なことを言われているという意識が起こる可能性がある。こういう視点で市民や事業者に取り組んでほしいという一文を最初に書くなど工夫が必要だ。

(委員)

脱炭素を進めるため、宇治市が一步踏み込んだ思いが伝わるので良いが、反発に繋がると良くない。これまでの計画では、市民の取組で「～します」という例はなかったのか。

(事務局)

環境企画課の策定した計画では、「取り組みましょう」という文言を使っており、「努めます」、「取り組みます」といった踏み込んだ表現はしていない。

(事務局)

総合計画は市民の行動について書かれておらず、「市民・事業者・行政が一体となってすすめる必要があります。」といった表現としている。

(事務局)

今後の10年間を考えると、市民・事業者の方にも危機的な意識を持ってもらいたいので、前計画では「しましよう」と投げかけていたが、今回は、「取り組んでください」とした。強い思いを言葉で表したが、上から押し付けられたと思われなため、前段で、こうした思いから強い表現をしている旨の文書を入れるのが適切と考える。

(委員)

P17図2-14の「家庭での状況に最も近いもの」は「家庭での対策状況」とした方が良い。

P36今後の方向性に「2030年までを勝負の10年と位置づけ」とあるが、既に2023年であるため文言を変えた方が良い。また、下から2行目の※印はどこに対応しているのかわからない。

(事務局) ご意見を踏まえ表現を変更する。

(委員)

P37に洪水の写真が追加されたが、対応する文書が本文にない。

P65市の取組にあるフードドライブは用語集に説明があるならアスタリスクを入れるべきである。

P66の取組指標、事業系ごみの1日あたりの平均排出量の目標値が現況値より増えている。下に理由が書かれているが、ごみを増やしていく目標と読めるので修正すべきである。

P68の取組指標はリサイクル率の現況値が20.8%に対し目標値が25%では目標が低すぎる。もっと努力すべきではないか。

P70の施策の方針にある「ふれあい収集」は具体的な説明が要る。

(事務局)

P37の図4-3は、P35の現状と課題の「近年激甚化する台風及び局地的な大雨などの気候変動の影響による災害」とリンクしているが、ご意見を踏まえ分かりやすく修正する。

P66の指標等は再度検討する。

P70のふれあい収集は、高齢者や障害者の方の家に職員が直接ごみを取集に行く市の事業であるので、分かりやすく修正する。

(委員)

市民の取組をなぜ強い表現にしたかということは、経緯を含め eco ット宇治にも伝えてほしい。体験学習等、地域への啓発は eco ット宇治が担う部分が多いので、その際に市の思いを市民に伝えてもらうと良い。また、eco ット宇治から見て表現に違和感がないか意見を聞いておくとその後の連携がスムーズになる。

P41市の取組の「PPA 事業について情報収集を行い太陽光発電を普及・促進します」は

違和感がある。オフサイトを含むなら、太陽光発電以外を含む再生可能エネルギー、とすべきである。近い将来、近隣市町村や事業者と連携してオフサイト PPA で風力発電の建設に参加しないと、再生可能エネルギーの導入に参加したとは言えなくなり、その時はこの計画に基づき検討することになる。時代の流れとして事業者の取組に「オフサイト PPA などの方法を活用し、再生可能エネルギー発電設備の増加に参画します。」と入れるべきである。

次に、気温の急上昇を予測した図を入れてはどうか。計画や概要版は多くの人に見てもらうものなので、気候変動の緊急性が一目で分かる図があると他の文言も生きる。

また、望ましい環境像に違和感はないが、これを図にする時は、文化・伝統を引き継ぐだけでなく、変革していくというメッセージが伝わるものとしてほしい。

(事務局)

市民の取組の表現等については eco ット宇治と共有する。PPA はオフサイトを含めて考えているので文言を変更する。グラフや絵姿はご意見を参考とする。

(委員)

エネルギー消費量のグラフも加えてはどうか。気温上昇とエネルギー消費量の急増についての関連が分かるグラフはインパクトがあって良い。

この間、前計画の総括が弱いと指摘してきた。P21、22は各指標に○、×、△があるが、トータルとして進んだのか、前計画の目標の立て方が良かったかに踏み込み、前回の反省があるとよい。

P45に「断熱窓の導入状況」があり、本文に二重窓等の言葉が出てくる。1枚ガラスでも種類毎に断熱や日射遮蔽が異なり、ガラスだけでも様々な種類があるが、市民が断熱窓にしようという時に、この指標では分かりにくい。断熱窓という言葉で意味するレベルをどの程度にするかも重要である。断熱窓か否かではなく、断熱の効果の違いを反映できる指標にする必要があるのではないか。

次に、P38 施策の方針1脱炭素のまちをつくる、に社会システムや都市地域構造を変えると書いているなら、ZEB やZEHなどに言及する必要がある。施策の方針1まちづくりと方針3エネルギー利用の効率化を完全に分けるのではなく、方針1にも断熱性の高い建物等について書く必要がある。

P39の目標値は2033(R15)年度だが、2030年に統一しないのか。

(事務局)

この計画自体が2033(R15)年度を計画年度としているが検討する。

(委員)

パートナーシップ的に取組を進めるなら、市と市民と事業者の取組の対応を細かく見直し、市はこういう取組をする、市民はそれを受けてこうすると、対応関係が具体的に分かる構成とした方が良い。

(事務局)

断熱窓など指標については、それが何を示すかが分かるように表現方法を考えていきたい。市民・事業者の取組についてはご意見を参考に全体を見直す。

(委員)

断熱窓について補足すると、比較的安価で断熱性を高める方法として、内窓をつける方法がある。また、現在のサッシのガラスを二重に変更する、また、ガラスの種類をさらに断熱性能が高くなる Low-E ガラスに変更するなどいろいろな方法がある。可能であれば、具体的な方法や費用など市民が求める情報を載せてほしい。例えば、5万円支出すればこの程度のメリットが得られるというイメージが持てると良い。断熱窓だけでなく他の項目でも具体化できるものが多くあるので検討してほしい。

(委員)

目次は全て左寄せになっている。一字下げるなど分かりやすくした方がよい。

(委員)

P77のまちづくりにおいて、行政は住民と接して声を拾いあげることが重要である。この計画では横断的に施策を進めると書いているので、まちづくりの部署や活動の中で脱炭素の啓発をコラボすることが可能である。縦割りではなく、まちづくりと脱炭素などを工夫して行政施策として行ってほしい。ワークショップなどが該当するので検討してほしい。その他にも歴史、文化など色々なところと繋がると思う。

(委員)

P66の事業系ごみの目標は、〇年度に達成済みであるとし、表中にさらなる削減を目指す書き加えてはどうか。

(事務局)

検討する。

(委員)

図表のタイトルについて、論文ではルールが徹底されている。図は下に、表は上に入れるのが常識なので検討されたい。

(委員)

洪水の写真についても、科学論文では文章の中で(図〇〇)と書くものである。

(委員)

事務事業編は区域施策編において庁舎がどう責任を果たすかという重要なものとなる。庁舎全体のランニングコストは、改修してでも ZEB 化した方が安くなるので、長期修繕計画で必ず ZEB に改修する方針を立て、順次改修をしている自治体もある。事務事業編を今年度改定するなら、宇治市でも計画期間内だけでなく長期的に方針を立てられるよう考えてほしい。それが、今回の計画をどう落とし込むかに関わる。庁舎で実施できてこそ民間への波及である。理念を活かすため事務事業編に書き込んで欲しい。

(事務局)

外に発信するだけでなく、内部でもしっかりしたものを作る必要があると考えている。

(委員)

庁舎で実施する際は、地域の事業者が庁舎を実験台にし、ノウハウや実績を営業ツールとして市内で展開してもらおうと経済の活性にも繋がる。庁舎はモデルケースとして実施し、その時は地域の事業者と連携してほしい。

(委員)

関西や近畿では ZEB 化は遅れ気味で近くに凡例がない。せめて、宇治市で市役所の一部が ZEB 仕様になっていると、決して贅沢ではなく、ここに投資すれば将来的にコストが下がると示せる。そういう意味では事務事業編で一步二歩先を行くべきである。夢物語ではなく、現実にあることが大事であり、無駄な投資でないことを理解してもらいたい。

(委員)

今後、風力発電にエネルギー源がシフトされるという話しがあったが、これまで携わってきた自治体では風力発電が景観問題に結びつくことがあった。できるかどうか分からない風力発電を計画に明記することによりハレーションが生じることがある。こういう論争をするより、今できる再生可能エネルギーに取り組む方が良いのではないか。

(委員)

風力発電という文言を入れる必要はない。太陽光発電に限定せず、再生可能エネルギー、オフサイトが表現されていれば十分である。現実問題として再生可能エネルギーのポテンシャルを見ると、太陽光発電だけでは日本はもたないと分かっている。その中で、将来は太陽光発電以外の再エネを導入しなければならない、という我々の覚悟を入れておきたい。

(委員)

まず、市民や事業者に再生可能エネルギーへ切り替えることが重要だと思ってもらい、主体的に今後の日本や宇治のエネルギーをどうするかを真剣に考えてほしい。その時、メリットの他、太陽光発電だけでは時間的な偏りあることや出力抑制の問題、風力発電では景観の他、バードスライプや騒音振動などデメリットもあるが、一定の合意を作って前へ進め、市民

に大きな変革が必要であると考えてもらうきっかけになる計画としたい。

(事務局)

PPA は太陽光発電に特化せず、再生可能エネルギーという文言にするなど精査する。

(委員)

資料 P32 図2-24 では2017年を境に森林吸収量が下がっている。森林面積はほぼ横ばいだが、ここを境に減っているのは政策的に伐採と造林が繰り返されたということか。老齢化であれば最初から徐々に下がってくるが、ここで変化しているのはなぜか。宇治市の森林の中身はわからないのか。

(事務局)

これは、京都府の森林吸収量を宇治市の森林面積で案分したものである。

(事務局)

京都府も全国の森林面積との案分を出しているの、宇治市は全国の森林面積と宇治市の森林面積の案分を出していることになる。老齢化なのか原因は分からないが全国規模で見ると下がっているため、必然的に宇治市の数値も下がることになる。

(委員)

後日、補足していただきたい。

## 2 その他

事務局から、午後3時から環境保全審議会を開催することを説明し閉会